プラスコーティング

プラスコートってなに？

従来のコーティング剤とは違う新たな防汚／撥水剤

“プラスコート”は、従来の触媒系や被膜系コーティング剤とは違う、新たな考えにより開発され商品です。

使用する素材に硬質皮膜形成したり、紫外線を触媒として化学反応を利用するのではなく、

施工後も素材の質感や硬度を変えることなく、素材表面に不安定磁場を生成、

汚れ物質などが帯びたイオン電荷と反発することでイオン結合力を阻止し、汚れの定着を防ぎます。

さらにシリコンによる撥水効果で、水垢ができにくく、鳥の糞害なども簡単に洗い流せます。

さらに定期的に洗浄や摩擦刺激を与えることで長期間その効果が持続する、

これまでにないコーティング剤です。

これまでのボディコーティング

- 施工に神経を使う
- 施工後雨染みができ、落ちない
- すぐに撥水力がなくなり、コーティングが持続しているのかわからない

プラスコーティングがすべて解決！

プラスコーティングは高価なボディコーティングという位置付けではなく、**長期間愛車を容易に美しく維持するカーメンテナンス剤**として、たくさんのカーオーナー様や施工者様に喜んでいただきたいというコンセプトで開発し、作られた製品です。

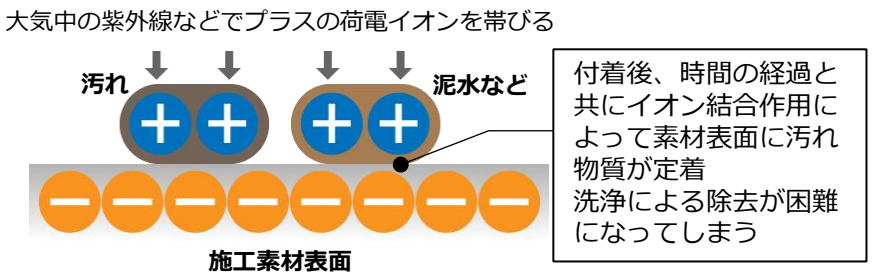
プラスコーティングの概要

特殊なプラズマ成分を配合し施工面にイオン荷電によるコンプレックス磁場を生成し、汚れなどを**イオン同士の反発作用により汚れが定着しにくい状態にします**。

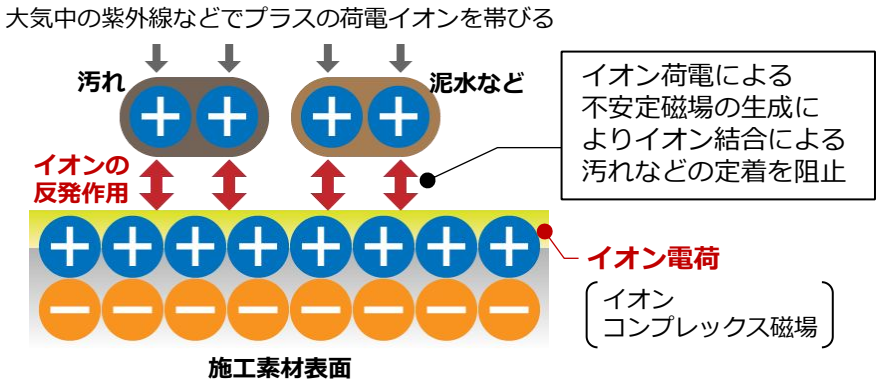
そのため、風や雨などにより汚れが排除される**セルフクリーニングの効果**も望めます。

さらに、シリコンコーティング皮膜が施工表面の**摩擦抵抗を軽減**し、汚れなどの付着・堆積がしにくい状態にします。同時に撥水効果を生み出してコーティング能力を高めます。

未施工の場合、汚れと引き合う



プラスコーティングで汚れと反発



その他期待される効果

- 潮風や海水からの塩害腐食の軽減
- 樹脂やゴム製品など紫外線に弱い物の劣化を軽減

他のコーティング剤との違い

	プラスコーティング	ガラスコーティング フッ素コーティング	光触媒
素材への適合性	幅広い素材に対して 使用可	塗布後に硬化 軟質素材には不向き	アクリルやウレタン などは素材そのものを 分解する可能性
環境条件への 適合性	－５０℃～３００℃と 幅広い対応温度	寒暖差の激しい環境や寒 冷地での使用で塗付面に 割れ	太陽光がなければ 効果がない
塗布後の様子	施工面の質感の 変化や色の変化が ほとんどない	色や質感に 変化を生じさせる 場合がある	施工に技術が必要 塗布面が暑くなると 白濁する場合がある
耐久性と メンテナンス	施工素材自体に 撥水・防汚効果 メンテナンスが容易	再塗布が非常に困難 様々な要因により 剥離の可能性	十分な接着ができず長 期間の効果は 持続が難しい
施工性とコスト	特殊な施工技術が不要 養生作業も不要 施工時のコストが安価	使用できる素材限定 養生の作業が必要 施工に専門知識	使用できる素材限定 養生の作業が必要

導入事例

新幹線・旅客機・観光バス・空港施設等

プラスコーティングの特徴

1 優れた施工性

● 取扱いが簡単！

プラスコーティングは、取扱いが簡単な１液性です。
施工前は容器をよく振って、中身を撹拌させるだけでＯＫ。
面倒な混合作業は必要ありません。
開封後は密栓をして、冷暗所で保管できます。

マスキングが不要！

ガラスやモール、**金属部分や樹脂部分などの塗装面以外に塗っても変色せず**、
コーティング効果を発揮します。
お車１台丸々施工できるので、**面倒なマスキング作業は必要ありません**。
※塗装面以外の部分に施工する場合は、耐久性が異なります。

塗り込み・拭き取りが楽々、短時間で施工が完了！

コーティング剤の塗り込みは、手作業でＯＫ！特別な機材は必要ありません。
コーティング剤の拭き取りも簡単です。
固形ワックスを拭き取るような力はいりません。
濃色車でもムラにならずに仕上げることができます。

作業完了後、即納車ＯＫ！　雨でも大丈夫！

コーティング作業完了直後から道路を走行しても、雨にうたれてもＯＫ。
ガラスコーティングによくある「施工後〇〇時間乾燥が必要」「完全硬化まで〇〇日間は洗車禁止」等の制限はありません。作業完了後、すぐに納車が可能です。

プラスコーティングの特徴

2 高い耐久性・復元性

● 撥水力が持続する！

従来のコーティングは、約１年で撥水力が衰えるものが大半です。
　プラスコーティングは、1年経過しても約70°の接触角を持続していることを、実車テストにて証明しています。
　１度の施工で長期間撥水力が持続するので、コーティングが効いていることが、目で見て実感できます。
プラズマコーティングは、低撥水が長期間持続するコーティングです。

● 撥水力が甦る！

ボディが汚れているとイオン反発効果が十分に作用せず、撥水力を失います。
　洗車をして汚れを除去し、摩擦による荷電をすることで、プラズマ被膜中の
　イオン反発力を復活させることができ、撥水力が甦ります。
バッテリーを想像して下さい。放っておくと放電してしまいますが、充電
　することでパワーが甦ります。
　プラスコートティングを施工した部分にも同じことが言えます。
　施工して何日間も放っておくと、効果が発揮されなくなります。
　洗車をしてボディを擦る（スポンジでの摩擦や拭き上げ時のクロスでの摩擦）
　ことで、プラズマ被膜内の電子が作用し、**イオン反発効果が表れます**。

メンテナンスで効果を持続

素材に悪影響がおよばないようなイオン電荷による反発レベルのために、時間の経過と共に徐々に反発力が低下し、汚れ
　が目立ってくる場合がありますが、水洗いもしくは水で薄めた中性洗剤を用いて**洗浄することで容易に汚れが
　落とせ、拭き上げることにより散布時の効果が蘇ります**。
また、定期的に**再散布などのメンテナンスによって効果が長期間持続**します。（再散布は非常に簡単にできます。）

プラスコーティングの特徴

3 耐候・防汚性

特殊なプラズマ成分を配合しているため施工面にコンプレックス磁場を生成し、**汚れを寄せ付けにくく、汚れが付いても落としやすく**なります。
走行していると、どうしても付着してしまう**鳥糞や高速走行時の虫の死骸も落としやすいと好評**です。

4 深艶感

抜群の透過性があるため、**淡色から濃色までみずみずしい高級感のある輝き**を、最大限に表現することができます。

5 定着性

特殊成分配合により、塗装面以外の部分にも定着させることに成功しました。
樹脂部分、ホイール、ランプ類、ドアバイザー等に施工しても、コーティング効果が発揮されます。
※対象物により耐久性が短くなる場合があります。
※ガラス・ミラーへの施工は耐久性が1～2年になります。フロントガラスはワイパーの摩擦ではがれやすい為、おすすめできません。

施工方法

1 お車の準備

シャンプー
↓
水洗い
↓
拭き取り

2 攪拌

成分が分離するため
必ず使用前に
しっかりと撹拌します

3 塗布

30cm四方～50cm四方を
目安にスプレーで噴霧
↓
不織布・スポンジや
ポリッシャーで
薄く塗り広げる

繰返し

4 余剰分の洗浄

濡らして絞ったクロスで拭き取るか
水洗いしてください

5 仕上げ＆荷電

乾燥したクロスで水分を拭き取り
荷電反応のために磨き上げます
磨き上げるほどに荷電反応は強まります

使用上の注意事項

- 成分が分離しているので、**塗布時には必ずしっかりと攪拌**してからご使用ください
- 物理的に強い摩擦やこすれなどがかかることで、徐々にその効果が薄れてしまいますので、頻繁に強い摩擦が加わる様な場所や強い摩擦が継続して起こるような場所においては早く効果が低減する場合があります。
- 施工面が乾燥もしくはそれに近い状態で施工し、**施工後はしっかりと拭き上げ**てください。但し多少濡れた状態で施工した場合は、しっかりと水分を拭き取ってください。
- 本製品を取り除く必要がある場合は、研磨剤入りの洗浄剤などで洗うことで、施工前の状態に戻ります。
- 誤って飲んだり、目などに入らないように気をつけてご使用ください。
  万が一目に入った場合は素早く水で洗い流し、医師の診断を受けることをおすすめします。
- 保存は冷暗所で保存してください、また使用後は、中の成分が揮発しやすいので、容器の栓をしっかり占めてください。
- 成分にアルコールが含まれているので、火気のあるところで保存および使用は避けてください。
  また密室などでは使用せずに、十分に換気が行える場所で使用してください。